

## 令和6年度「地域文化功労者表彰」受賞者

被受賞者 (年齢／所在地・住所)	表彰理由	主要経歴
のぶはら たけはる 延原 武春 (81歳／神戸市)	<p>○ドイツ人作曲家であるテレマンの名を冠した「テレマン・アンサンブル」を結成し、「日本テレマン協会」に発展させる。同協会の代表として、日本の洋楽界にバロック音楽や室内楽を定着させた。</p> <p>○兵庫県内では、学校公演や、阪神・淡路大震災時の避難所コンサートの開催など幅広い活動を行い、音楽の振興に貢献した。</p>	<p>【略歴】</p> 昭和38年 日本テレマン協会代表 平成26年 日本テレマン協会理事 <p>【賞歴】</p> 昭和58年 神戸市文化奨励賞 昭和60年 第9回井植文化賞 平成12年 兵庫県功労者表彰 平成16年 神戸市文化賞 平成20年 兵庫県文化賞
きづ るしん 木津 露真 (81歳／尼崎市)	<p>○茶道家・五代木津柳斎宗詮の長男として生まれ、平成12年に六代木津宗詮を襲名する。県内各地の茶道教室等で数多くの門下生を指導するなど、後進の育成や茶道の普及に貢献した。</p> <p>○平成8年に兵庫県茶道協会の副会長に就任し、同協会の代表者として、10流派約1,100名の会員をまとめ、流派の枠を超えた県内茶道会の発展に貢献している。</p>	<p>【略歴】</p> 平成8年 兵庫県茶道協会副会長 平成12年 六代木津宗詮を襲名 <p>【賞歴】</p> 平成14年 兵庫県功労者表彰 平成20年 兵庫県文化賞
ねだち けんすけ 根立 研介 (68歳／京都市)	<p>○平成16年7月に彫刻・工芸の専門家として兵庫県文化財保護審議会の美術工芸品部会の委員として委嘱され、現在まで兵庫県の文化財保護行政に貢献した。</p> <p>○この間に美術工芸品で29件の新指定に尽力し、地域の歴史文化遺産の積極的な保護を図ってきた。</p> <p>○令和4年7月からは同審議会会長として美術工芸品以外も含めた兵庫県の文化財の総合的な保護・活用にも寄与した。</p>	<p>【略歴】</p> 昭和56年 京都府教育庁指導部 文化財保護課技師 平成4年 文化庁文化財保護部 美術工芸課文化財調査官 平成10年 京都大学大学院 文学研究科助教授 平成16年 兵庫県文化財保護審議会 委員 平成17年 京都大学大学院 文学研究科教授 平成23年 文化庁文化審議会委員 令和4年 (公財)美術院理事長 令和4年 兵庫県文化財保護審議会 会長 <p>【賞歴】</p> 平成8年 鹿島美術財団賞 令和6年 兵庫県功労者表彰

※年齢は令和6年11月3日（表彰期日）時点に記載